

財務局にお寄せいただいた都民の声(平成28年12月分)

◆分野ごとの受付件数及び区分

(単位:件)

区 分	提言	意見	苦情	要望等	合計
		26	6	5	37
財政運営		23	2	1	26
財産管理					
営繕・都庁舎		1	3	2	6
その他の声		2	1	2	5

◆ お寄せいただいた都民の声と財務局での取組例等

▶ 【都民の声】各種団体等ヒアリングについて

各種団体等との予算要望のヒアリングが行われているが、新聞の紙面などを見ても、具体的な要望内容や団体等とのやり取りはあまり掲載されていない。より積極的な情報発信を行うべきではないか。

【説明】 予算要望ヒアリングの内容は、報道機関にもオープンな場で実施し、インターネット中継も行いました。

また、ヒアリングの録画映像及び議事録は、財務局ホームページに掲載しています。引き続き、新年度予算編成のプロセスについて、都民の皆様への分かりやすい情報発信に努めてまいります。

【「平成29年度各種団体等ヒアリング」掲載ページ】

http://www.zaimu.metro.tokyo.jp/syukei1/zaisei/29dantaiyobo_index.html

▶ 【都民の声】トイレの節水について

トイレの水は節約出来るそうです。高層ビルになると、揚水ポンプで水を組み上げなければならないし、さらに微妙に調整すると使用水量を減らす事が出来るようです。

【取組】 都庁舎では、現在行っている改修工事において、最新の節水型大便器や自動洗浄機能付き超節水型小便器、手洗いには自動水栓を採用するなど、継続して更なる節水に取り組んでおります。

なお、トイレ洗浄水には、再生水(下水処理水)を使用しており、水道の使用量の低減に努めております。

▶ 【都民の声】振動センサーと二酸化炭素濃度センサーの設置について

都庁に、「振動センサー」と「二酸化炭素濃度センサー」を付けておいた方が良くかもしれません。

「振動センサー」は、地震後素早く業務再開するのに不可欠です。どれくらいの地震力が加わり、建物に損傷が有るのか、無いのか、簡易的ですが、判定の材料になるそうです。

「二酸化炭素濃度センサー」は、室内の二酸化炭素濃度を測定して、基準値を越えたら換気する目安に出来ます。空調を効かせて密閉された執務室、二酸化炭素濃度が多くなると誰でも経験した事があるだろうけれども、睡魔に襲われ、アクビが出たり、居眠りしそうな経験も有ると思います。

【取組】 「振動センサー」につきまして、都庁舎にはしゅん工時から東京都震災対策条例に基づき、加速度検知器が設置されており、大地震後の建物や設備の状況を早期に把握することが可能となっております。

「二酸化炭素濃度センサー」につきまして、都庁舎にはしゅん工時から「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、執務室内の二酸化炭素含有率を1000ppm以下に抑えるよう、空調機にCO2制御(二酸化炭素濃度センサー含む)を採用し、執務環境の維持に取り組んでおります。